

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第104号

2017年3月16日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

第41回 かばら新春のつどい 時局漫才「けいことたかこ」 安倍とトランプの風刺落語

去る2月12日(日)蒲原診療所3階にある、かばらデイサービスセンターで、

歌あり、踊りあり、講演あり、漫才ありで楽しい一日を過ごしました。



最初のあいさつの部では友の会かばら支部の渡辺政次支部長、法人代表のさわやか福祉会、菊池雅彦常務と都議会議員予定候補である斎藤まりこさんが、それぞれあいさつをしました。

す。今回は伴奏者の都合が悪く、楽器の伴奏無しで合唱しました。それでも参加者が一緒に歌う場面では「川の流れるように」の歌詞を自分の人生に重ねるように、口ずさむ人たちが大勢いて、舞台と客席の皆さんの気持ちが一緒にになりました。

綺麗な衣装で舞台上に立つフラダンスグループの「プアオハナ」のみなさんによる踊りは今年も客席を魅了しました。特に曲ごとに衣装と踊るメンバーを変えて披露されるフラダンスは、明るい会場に若々しい花々が咲きそろうようで、客席がなごみます。シャンソンの馬越さんは独自の語りを変え、良心の叫びを歌にし



て披露しました。会場から大きな拍手が沸きおこりました。今年、役員で試みとして採り入れたのが「掛け合い漫才」です。「けいことたかこの友の会漫才」と銘打ち時事ネタをもとに、友の会員の平哲夫さんが脚本を書きました。漫才は慣れない二人ですが、その一生懸命さに客席から時々、大笑いが起きます。また、「安倍首相とトランプ大統領の会談」を基にした寸劇も入れました。身近な話題だけに客席から「また機会があったらやってよ」と言う、うれしい注文も頂きました。この掛け合い漫才ではこの短い寸劇を挿入して、最後に「スタンディング落語」で終わる形式をとりました。出演したみなさんは「もう



少し稽古の時間があれば良かったね」と次回への抱負を話していました。昼食休憩の後は蒲原グループの職員の紹介、そして吉田万三先生による講演と続きました。(講演の要旨は来月号でお知らせします)最後は新春の集いの恒例になっている「お楽しみ抽選会」です。二等はお米4キロです。これは診療所の前の山口さんが当たりました。特別賞のコーヒーマーカーはデイサービスの小澤さんが当たりました。「これはデイサービスの職員全員で使わせてもらいます」と当たりの喜びを語っていました。参加者(出演者)からの聞き書き 報告 嶺岸 宏

築地卸市場を守ろう！ おかみや仲卸商が訴える 豊洲移転は中止を！

3月3日に中央卸売り市場の豊洲移転問題で、石原前都知事が記者会見しました。これを見た近所の人は「無責任だ」と怒っていました。この問題は真相究明の途に入ったばかりですが、これに先立って築地から豊洲に移転することに反対する宣伝行動が2月18日、築地の場外売り場付近の交差点で行われました。この宣伝行動には、かばら支部の友の会員も十人ほど参加しました。宣伝カーの上からは築地の女将さんや中卸商の人、共産



党、社民党、東京生活者ネットワークなどの議員さんが交代でマイクを握り「移転反対」を通行人に訴えました。通りがかりの人々は築地での買い物が多くいる

ように、豊洲移転には関心が高く、署名も沢山の人たちが集まりました。この宣伝行動は一時間程で、かばらの友の会員は宣伝行動が終了後、築地の場外売り場の「寿司屋」に寄り、その後で、話題の現地を視察して帰ってきました。

かばら支部総会
4月23日 午後1時から

担当 仙石美智子



かばらデイサービスセンター 平島真理子介護福祉士紹介

長年務めていたホテルの仕事
を退職し数カ月後にかばらデ
イサービスセンターに就職し
ました。

いざ働いてみると、ご利用
者様の体に触れる事も恐る恐

多くの方達に支えられてかばらデイサービスセンターは成り立っています。今回は、その中でも介護に関わっている常勤職員である平島真理子職員を紹介します。介護の仕事に尽きたいと、夜学に通い介護福祉士の資格を十数年前に取り、二人目のお子さん出産を機に

る、緊張のせいで笑顔になれず、先輩職員によく注意されていたそうです。あれから9年3ヶ月がたち、緊張の「き」の字も無い図々しい職員になったと話しますが、他の職員にとつて頼もしい同僚です。子育て・親の体調など心配事もあり、仕事との両立の難しさを実感しつつも健康で楽しく働ける事に感謝していますと語ってくれます。



た歴史に比べてまだまだ未熟とはなされますが、そんな方達のお手伝いができる様々な性格・経歴をお持ちの方達とふれあえ、行事や外出レクで季節を味わえたりする事は、この仕事をしているからこそではないでしょうか！と、これからももっともつと経験を積み、ご利用者様と過ごす時間を大切にしていきたいと話されます。そして介護の仕事がしたいと思う人が一人でも多く増える事を願っていますとも！かばらデイサービスセンターはそんな職員が多い場所です。

今後をかばらデイサービスセンターを宜しく願っています。

（かばらデイサービスセンター 施設長 小澤 孝博）

沖縄・辺野古・高江支援報告

足立健康友の会で2月中旬、沖縄平和ツアー（リーダー・渡名喜史子友の会かばら支部副支部長）に八人で行って来ました。ハードなスケジュールでしたが、不屈館見学、高江オスプレイパッド座り込み交流、首里城見学、普天間基地、沖縄医療生協の組合員さんとの交

流。辺野古では新基地建設反対の意思表示のためゲート前の座り込みにも参加しました。



この行動の中で、かばら新春の集いの参加者や、蒲原診療所グループの職員のみなさんに協力いただいた寄せ書きや募金を現地のみなさんへ渡してきました。沖縄のみなさんは大変、喜んでおりました。蒲原の皆さんの協力に感謝いたします。ありがとうございました。

（報告 ・ 美濃哲夫）